

2020年 3月31日

府中市議会

議長 横田 実 様

府中市議会

生活者ネットワーク 西の なお美  
奥村 さち子

行政視察について（報告）

このことについて、次のとおり報告します。

- 1 日 時 令和元年11月6日～7日
- 2 視察地及び視察事項  
京都府 亀岡市  
視察地1：亀岡市役所  
視察地2：NPO法人プロジェクト保津川事務局  
亀岡市内店舗など
- 3 視察者 生活者ネットワーク 西の なお美、奥村さち子
- 4 視察内容及び所感  
別紙のとおり

# 1 京都府亀岡市

## (1) 視察日時

2019年11月6日、7日

## (2) 場所

亀岡市役所、NPO法人プロジェクト保津川事務局、亀岡市内店舗など

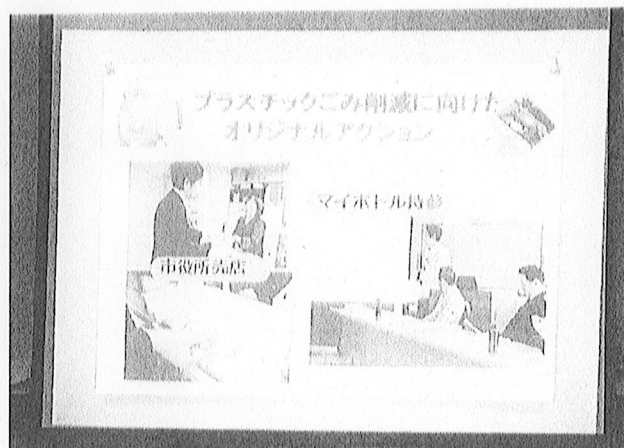
## (3) テーマ

2018年、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、レジ袋廃止条例の制定を目指す亀岡市の市民と事業者、行政の協同の取り組みについて。

## (4) 視察内容

11月6日

視察地1：亀岡市役所 市民環境部



環境部の山内氏にプラスチックごみゼロ宣言を行うに至った経緯について、また、行政と事業者、市民の取り組みと課題について話を聞いた。

15年ほど前に保津川下りの船頭さんが、川に流れるレジ袋やペットボトルが多いことをなんとかしたい、と清掃活動を始めたことがきっかけになり市民活動に発展した。その後、保津川の環境保全に取り組むNPO法人が設立され、ボトムアップの活動から始まった活動がプラスチックゼロ宣言につながったとのこと。2019年10月に行われた亀岡市長選挙では「レジ袋禁止条例」を公約に掲げた掛川市長が当選し、条例化を後押ししたものの、業界団体などからの反対もあり、話し合いを続けている最中だという。

亀岡市では、環境を切り口に、経済もまちも活性化していくことを目指している。ふるさと納税型クラウドファンディングで、目標額の倍近くの額が集まったというプロ



プロジェクト「KAMEOKA FLY BAG Project」は飛べなくなったパラグライダー生地を再生するという企画で、市民向けにワークショップを行い、巨大なエコバッグからオリジナルエコバッグを作った。社会的な活動をアートと組み合わせたことで、おしゃれに、たくさんの市民を巻き込んで成功した活動の一例である。

11月7日

視察地2：NPO法人プロジェクト保津川事務局

NPO代表の大阪商業大学公共学部准教授、原田禎夫先生を訪問。

2007年にNPO法人プロジェクト保津川を設立した経緯から、京都府の補助金制度を使いながら市民協働で進めてきた流れを聞く。当初、船頭さん2人が、保津川を流れるプラスチックごみの清掃を始めたことから活動が始まりました。今では「保津川クリーン作戦」と名付けられた清掃活動が毎月行われ、1200人程度が参加するほどになった。

説明を聞いた後、市内のスーパーマーケットなどの見学を行った。レジ袋削減をはじめとした積極的な取り組みが行われている。環境活動だけではなく、地域の農業や経済、教育など様々な施策に活かせるほどの活動に広がっており「循環型農業」の推進で、農産物のブランド力向上にも取り組んでいる。

保津川遊船企業組合 代表理事の豊田さんに話を伺う。「世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会」の会長も務められている。この協議会は亀岡市は市議会と昨年12月に行った「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」から、来年のプラスチック製レジ袋の有料化や禁止条例の制定に向けて協議をおこなっており、地元の自治会や小売業者など34の企業・団体とを設置されたもの。行政だけでなく、関わる団体を広く集めて協議を行い、行政は丁寧に市民に説明していく、市民協働で進めていくために大切な手順だと感じた。

